

歌ノレノ래 161

『放浪詩人 金サッカ』

山根 俊郎

★ 1954年 復活する韓国のレコード業界

1954年9月にソウルの「ユニバーサルレコード」から『離別の釜山停車場』(胡童児=愈湖詞、朴是春曲、南仁樹唄 P1009)が発売されて大ヒットした。この歌により朝鮮戦争の辛い避難生活を引き払いソウルに還都して‘戦後復興’の機運がみなぎった。釜山では、早くも54年7月に「スター・レコード」が『シュシャインボイ』(靴磨き少年・李瑞求詞、孫牧人曲、朴丹馬唄)など第1回新譜を発売した。釜山では52年に創立した「トミド」(都美都)に続き、「ミドパ」(美都波)レコードも創立して、1950年代末までソウルに負けず多くのヒット曲を発売した後、レコード産業は衰退した。ソウルでは、「オアシス」、「シンシン」(新新)が相次いで創立した。大邱では「ソラボル」も創立した。K-POPというサイトの「大衆音楽史」54年の項に「重要人物」として次のような記述がある。注:[]は山根が記入。

この頃、作曲家 朴椿石[オアシス]、白映湖[ビクトリー=釜山のミドパの子会社]、韓福男[トミド]が作曲活動を始める。作詞家 韓山島[ビクトリー]が作品活動を始める。作詞家 金文応[シンシン]が越南以後、作品活動を始める。⇒この金文応が『放浪詩人 金サッカ』を作詞したのである！！！

★ 1955年のヒット曲

上記の新生レコード会社は1955年になると続々と新譜の発売を始めた。ソウルのユニバーサルは、作曲家朴是春がすべて作曲を手掛けて、南仁樹、白雪姫、新人の孫仁鎬が活躍した。孫夕友は朴是春の近所に住んだ縁で作詞を始めた。『青春告白』(孫夕友詞、朴是春曲、南仁樹唄 P1031)、『水鳥が鳴く川辺の丘』(孫夕友詞、朴是春曲、白雪姫唄 P1033)、『私は泣いた』(金東一詞、朴是春曲、孫仁鎬唄 P1050)などがヒットした。一方、ソウルのライバル会社である「オアシス」は、作曲家全吾承、孫夕友、そして新進気鋭の朴椿石が名曲を創作する。作曲家 全吾承(1923. 3. 23 生まれ。本名：

全鳳寿。平安南道鎮南浦から越南。78年、米国LAに移民)は、明國煥と朴慶遠の2人の弟子をデビューさせて、妹で女優の羅愛心に曲を書き、オアシスから『白馬よ 鳴くな』(55年 姜英淑詞、全吾承曲、明國煥唄 B77603)=白馬とは軍馬のイメージが強いが、長女が丙午(白馬)生まれを憂いたらしい。『離別の仁川港』(55年 世鼓千=全吾承詞、全吾承曲、朴慶遠唄)、『いつまでも』(オンジェカジナ 55年 金文応詞、全吾承曲、羅愛心唄)を発表した。孫夕友は中央放送局の楽団指揮者として作曲も手掛けて『私ひとりの愛』(孫夕友詞、曲、宋曼道唄)を55年放送でヒットして56年音盤B66565発売した。朴椿石は、『雨降る陽山道』(55年 半夜月詞、朴椿石曲、黃貞子唄)を発表した。

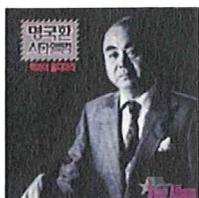
1955年は、「韓国歌謡界の55年体制」(私が勝手に名付けました)とも言うべき有名男性歌手が出揃った年であった。玄仁、歌謡皇帝の南仁樹、朴載弘に新人の孫仁鎬、明國煥、朴慶遠、そして、孫夕友がピックアップした放送局専属歌手 安多星(アンダーソン)などである。

★ 1955年『放浪詩人 金サッカ』のヒット

朝鮮時代の飄々と生きた『放浪詩人 金サッカ』(金文応詞、全吾承曲、明國煥唄 S353)が、55年にシンシン(新新)レコードから発売されて、大ヒットした。(SPレコードラベル)



明国煥（1933年生まれ・海兵隊出身）は、全吾承とコンビで『公主の悲恋』（56年 江南風=崔致守詞、全吾承曲 シンシン S388）、『私の故郷に馬車は行く』（56年 柳魯完詞、全吾承曲 シンシン S443）などのヒットを連発した。57年7月雑誌「三千里」が実施した歌手人気投票で玄仁1位に次いで、明国煥は2位に輝いている。3位は南仁樹。59年には『アリゾナ カウボーイ』（59年 金富海詞、全吾承曲 コロンビア 10インチLP）のヒットもある。作曲家 全吾承の‘浪漫派音楽’（2008年、全吾承が一時帰国した時の大衆歌謡評論家パク・ソンソ（박성서）の評価）を歌手明国煥は、見事に表現して韓國の大衆歌謡の‘明朗化・娯楽化’（私の評価）に寄与した。今もKBSの人気懐メロ番組の‘歌謡舞台’に元老歌手の明国煥は、安多星と共によく出演して、元気に歌っている。



元老歌手の明国煥

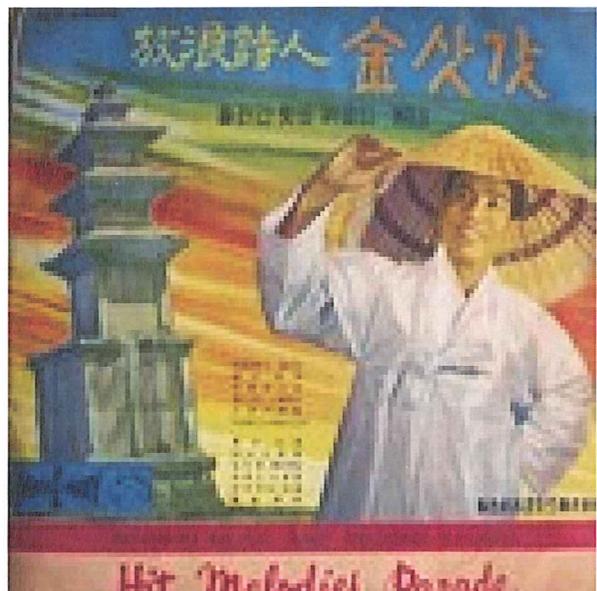
★1957年『放浪詩人 金サッカ』の映画化

50年代後半は映画産業も盛んになった。そのため大衆歌謡『放浪詩人 金サッカ』は、映画化されて1957年7月18日に伝記時代物映画『金サッカ』は封切りされた。出演：金東園、黃貞順、金勝鎬、朴景柱、監督：李萬興、白黒映画、製作費約2,800万圓、美星映画社製作である。（映画のポスター）

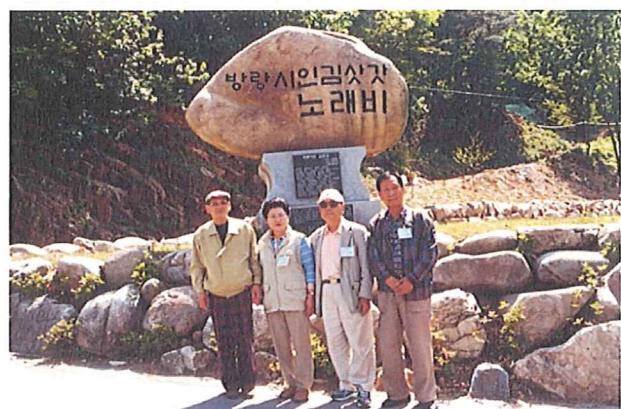


★1964年『放浪詩人 金サッカ』の禁止曲

そのまま終わったら『放浪詩人 金サッカ』は、50年代の名曲と称されていたはずであったが、1964年に「流れ行つたヒットメロディーNO. 1」シリーズで『放浪詩人 金サッカ』をタイトル曲にしたアルバム 10インチLP音盤（A面4曲、B面4曲、合計8曲 SLB-10305）が新世紀レコード（新新レコードが57年に社名変更）から復刻された。64年は、李美子の大ヒット曲『椿むすめ』（韓山島詞、白映湖曲）が反日感情から「倭色」という言いがかりで禁止曲にされた時であり、タイミングが悪かった。結局、日本の歌謡『浅太郎月夜』（作詞坂口淳、作曲吉田正、1953年[昭和28年]1月宇都見清の歌でレコード発売）の盗作と判定されて禁止曲にされた。（朴燦鎬著「韓国歌謡史2」09年P286）



64年発売の『放浪詩人 金サッカ』ジャケット



▲江原道旌善に建立された明國煥の歌碑。

江原道旌善の歌碑。右から2人目は明国煥。

『放浪詩人 金サッカ』

방랑시인 김삿갓

김문옹 작사
전오승 작곡
명국환 노래

Trot

죽 장에 삿갓 쓰고
세 상이 싫든가요

방랑 삼천리
벼슬도 버리고

고개 넘어 가는 객이 누구나
사람 없이는 이거저마을로

열두 대문 문간방에 결식을 하며
술 한 잔에 시 한 수로 떠나가는 김삿갓

세상이 싫든가요 벼슬도 버리고
기다린 사람 없는 이 거리 저 마을로

떠나가는 김삿갓
떠나가는 김삿갓

손을 젓는 집집마다 소문을 놓고
푸대접에 걸결대며 떠나가는 김삿갓.

3. 사람에 지치었나 사랑에 지치었나
피나리 봇짐 지고 가는 곳이 어데나
팔도강산 타향살이 몇 몇 해던가
석양 지는 산마루에 잠을 자는 김삿갓.

1. 죽장에 삿갓 쓰고 방랑 삼천리
흰 구름 뜯고 개 넘어 가는 객이 누구나
열두 대문 문간방에 결식을 하며
술 한 잔에 시 한 수로 떠나가는 김삿갓.
2. 세상이 싫든가요 벼슬도 버리고
기다린 사람 없는 이 거리 저 마을로

손을 젓는 집집마다 소문을 놓고
푸대접에 걸결대며 떠나가는 김삿갓.
3. 사람에 지치었나 사랑에 지치었나
피나리 봇짐 지고 가는 곳이 어데나
팔도강산 타향살이 몇 몇 해던가
석양 지는 산마루에 잠을 자는 김삿갓.

- I. 竹杖に編み笠をかぶり 放浪する三千里
白い雲が浮かぶ丘を越えて行く旅人は誰か
十二の大門の部屋に食事を乞い
酒一杯に 詩一首を詠い 旅立つ金サッカ
2. 世間を嫌い 官職も捨てて
待つ人もいない この街角 あの村に

- 訪れた家ごとに 噂を残して
冷遇にもカラカラ笑い 旅立つ金サッカ
3. 人に疲れて 人に疲れて
小さな包みを背負い どこに行くのか
八道江山 他郷暮らし 何年になるか
夕日が沈む山の端に 眠りに就く金サッカ (終)